



モスクワ日本人学校

しらかば

第2号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数 128名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

映画制作と学校づくり

校長 石川 賢

新緑の季節を迎えて

アニメ映画監督の宮崎駿さんが、映画「千と千尋の神隠し」の制作後、ジャーナリストの筑紫哲也さんとの対談で自身の映画づくりについて次のように語っています。

10歳の女の子が見て、その人がお母さんになって、自分の娘が10歳になったときに、やっぱり見せたいと思える映画でありたい。一緒に見たら、やっぱり面白かったという映画をつくりたい。

(宮崎駿著「折り返し点」より)

原画制作だけで37人、総数300人を超えるスタッフが一年半の歳月をかけて制作したという事実が、宮崎監督の言葉を裏付けています。

この「映画」を「学校」と読み替えてみます。映画制作と学校づくりは違います。しかし、私たちがこの一年かけて取り組む学校づくりへの思いは、宮崎監督の言葉に代弁されているように思うのです。

今ここで学ぶ子どもたちが、大人になり親になったときに、我が子に語り継ぐであろう「自慢の学校」を、子どもたちや学校運営委員会、保護者の皆さんとつくっていきたいと思います。

子どもたちに学校の自慢を尋ねてみました。トップは、「モス日でなければできない活動」。以下、「やさしく教えてくれる先生方」「共に学ぶ仲間」「狭いけれど温もりのある校舎」と続きます。いつまでも大切にしてほしい自慢です。

先日来校されたPTA役員の方々に、先日の声かけをしたら、「役員はたいへんだけど、全部子どものためですからね」という言葉が返ってきました。嬉しい限りです。子どもたちの学校自慢に「頼りになる保護者の皆さん」を加えてもらおうと思っています。